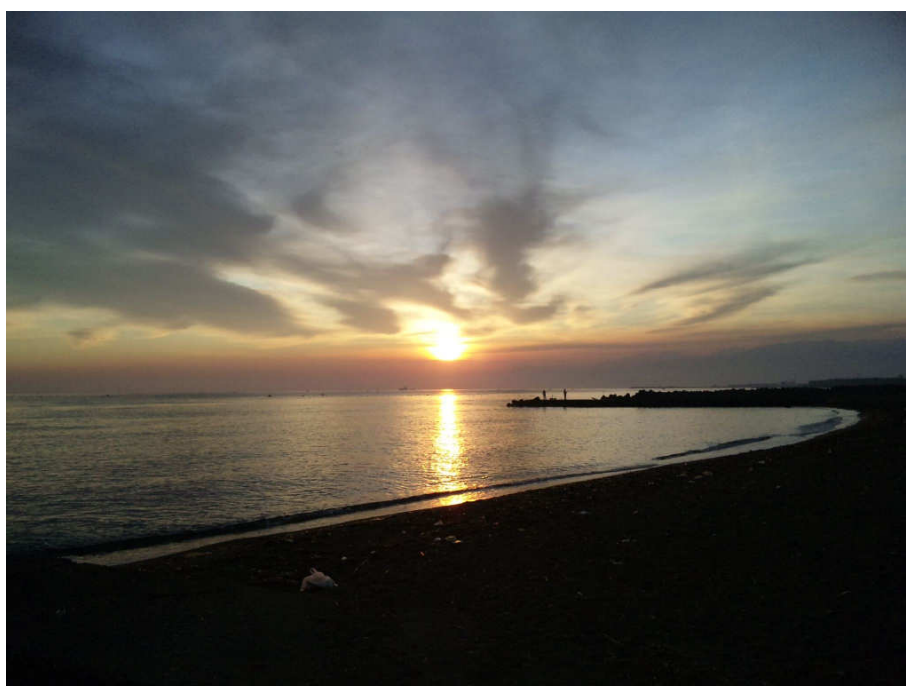


環境保全への取り組み



環境報告書 2011

● ISO14001承認取得状況

- 登録日：2002年3月31日
- 登録対象組織名：深谷製作所、社製作所、桐生製作所
- 登録対象活動：深谷製作所、社製作所、及び桐生製作所敷地内における「キッチンユニット・サニタリーユニット及びそれらの構成材・付属品の設計及び製造」に係わる全ての活動

●環境マネジメントシステムの主な活動

1、環境目的・目標の設定	▶ 環境改善計画書の展開
2、環境教育の徹底	▶ 環境の一般、専門教育による自覚
3、内部監査員の育成	▶ 環境マネジメントシステムへの検証
4、地域環境への取り組み	▶ 突発事故、緊急事態への対応

環境保全への取り組み実績

● 地球温暖化防止／省エネルギー

CO₂排出量実績

	(t-CO ₂)			
	深谷製作所	桐生製作所	社製作所	合計
2010年度	4,961	2,438	1,074	8,473
2009年度	4,929	2,656	616	8,201
2008年度	5,472	3,030	766	9,268
2007年度	5,817	3,160	673	9,650

* 各都道府県届出数値

● 廃棄物

生産活動における産業廃棄物発生量実績/ゼロエミッション達成状況

生産系	(t)		(%)
	深谷製作所	桐生製作所	社製作所
	6,314.1	596.6	99.2
	1,053.7		99.3

●ゼロエミッションとは、単純埋立、単純焼却をゼロにする取り組みです。

● 化学物質排出量の削減

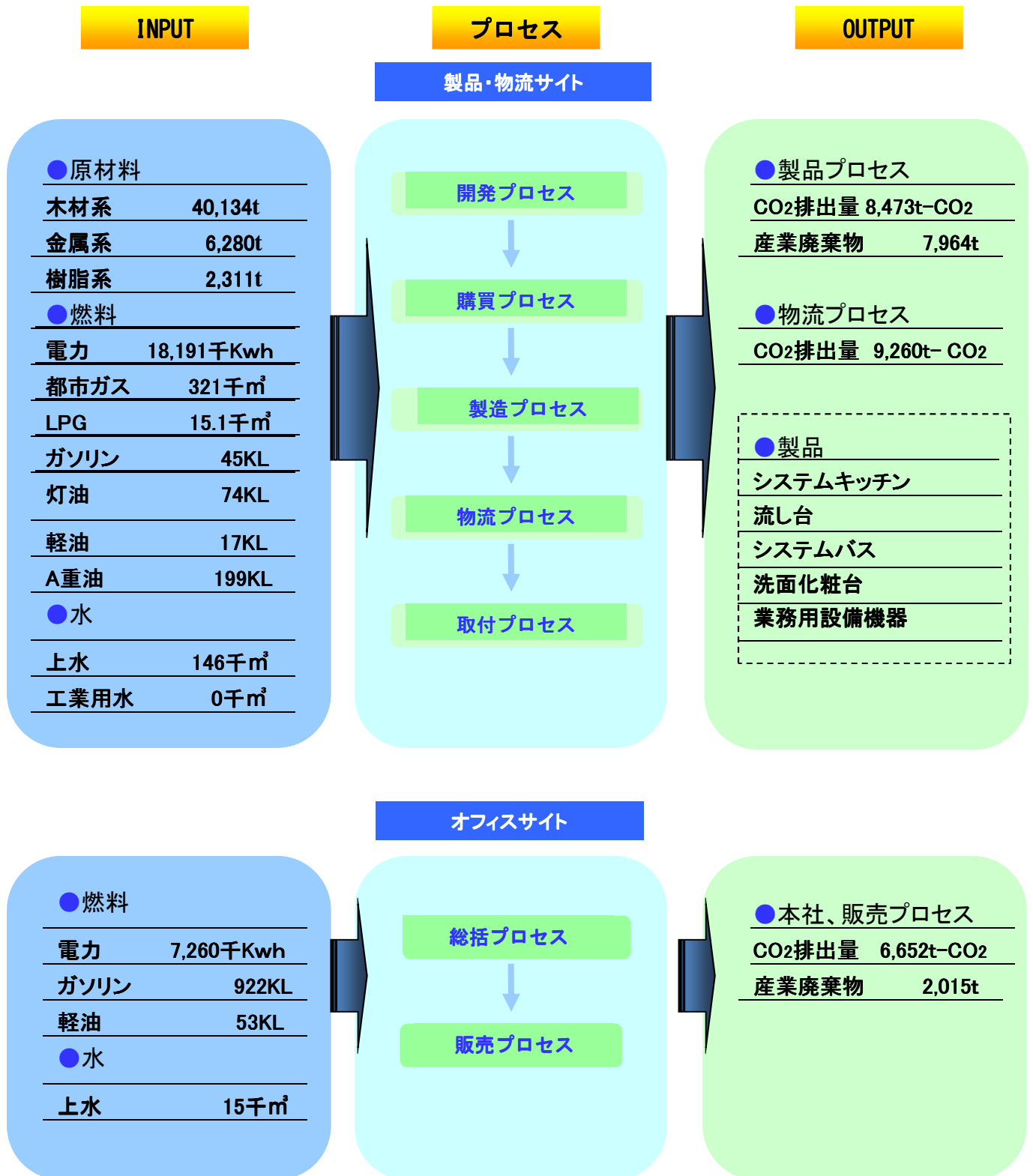
サンウエーブグループでは、PRTR法対象物質の把握、届出にとどまらず、化学物質の購入から使用、破棄、製品化までの管理等により、削減に取り組んでいます。又、厚生労働省指針13品目（VOC）や、RoHS指定品目（重金属類）については、製品設計時より削減配慮を行っています。特に、PRTR法にて第1種指定化学物質354物質の年間取扱量が1tを超える場合又、特定第1種指定化学物質の年間取扱量が0.5tを超える場合は、届出る義務が生じます。2010年度は、表内*印化学物質を国へ2010年6月までに届出を完了しています。今後、更に削減を推進すると共に、新製品開発時においても有害化学物質の削減を進めています。

PRTR法		化学物質名	取扱量	排出量	移動量
PRT R第 一 種 指 定 物 質	*227	トルエン	1.32	1.32	0
	*232	ニッケル及びその化合物	1.08	0	0
	*304	ホウ素及びその化合物	9.28	0.09	4.50
	342	1-メチル-1フェニルエチル	0.01	0	0
	420	メタクリル酸メチル	6.33	0.00	6.33
	448	4・4ジフェニルメタンジイソシアネート	27.14	0	1.80

(単位t)

2010年度・・・資源投入量および排出量

サンウエーブ工業は、製品サービスを通じて環境と調和した社会を実現する為に製品の全ライフサイクルにおける、環境負荷低減を目指したモノづくりを推進しています。
 下記に当社2010年度における資源など主要項目のインプット（投入量）と、地球環境へのアウトプット（排出量）の概要を示します。



エコプロダクツ

●環境配慮製品アセスメントについて

環境に配慮した製品の設計、開発を行なう為に、製品アセスメントガイドラインにて評価目的と評価項目を制定し、システムキッチン及びシステムバスの商品開発プロセスにおける評価を実施しております。

製品アセスメントガイドライン

本年度は、「省エネルギー性」「原材料の工夫」項目により配慮した製品づくりを目指し、商品化致しました。

●環境配慮製品事例

「システムキッチン リシェル『エコ&エコプラン』」



ファーストウッド(早成長材)扉



評価目的	評価項目
原材料の工夫	再生資源化、原材料種類削減、分離困難材削減
構造の工夫	分離容易化、取り外し容易化、回収、運搬容易化
分別のための工夫	合成樹脂材質表示率
環境／処理安全の確保	危険構造削減、有害材料削減、環境負荷物質減量化
安全性の向上	再生資源利用促進技術向上
情報の提供	構造情報、解体、分離方法情報、材質名等情報
包装材の工夫	再生資源化容易材料等の使用率 分離、回収、運搬容易化
省エネルギー性	エネルギー消費量、消費効率、待機電力削減

省エネレンジフード



節湯水栓



環境保全への各部門の取り組み

●環境保全行動計画

	目標項目	2010年		2011年
		目標	実績	目標
全体	・環境法令の遵守	・法的要求事項の検証 <適時及び内部監査時確認>	・法的要求事項の検証を各部署2回/年実施 <法的变化の情報収集及び共有化> <内部監査実施時確認>	
	・全社環境保全推進活動 ・ISO14001環境マネジメントシステム活動	・地球温暖化防止活動に参画 (6月環境月間に伴った活動) ・全社エネルギー使用量の実績把握精度UPによる目標設定の見直し	・6月環境月間にライトダウン活動を実施できず。(未達) ・省エネ法改正に伴い全社エネルギー消費量を経済産業省に提出。また「省エネルギー管理規程」を制定し、全社の省エネを促進。	
環境に配慮した製品作り(開発・設計・購買)	・環境配慮製品の拡大	新商品の環境配慮製品への適合 ・システムキッチン	リシエル ・エコエコプランの設定 ・省エネ機器類の開発、採用	
	・有害物質の使用削減	・住宅部品VOC表示ガイドライン対応 ・製品の4VOC基準適合の自主表示の検討	・F☆☆☆☆木質材の全商品展開の継続 ・4VOC表示の基準適合確認	
	・グリーン調達推進 ・原材料のグリーン購入	・木質材料以外のグリーン購入	・F☆☆☆☆木質材の全商品展開 ・4VOC表示の具体的検討	
事業活動(生産・物流)	・二酸化炭素排出量の削減	・事務所系照明器具の省エネタイプへの変更	・事務所・倉庫照明の省エネ化 ・集塵機統廃合による電力削減 ・事務棟エアコン更新(深谷)	・(株)LIXIL住設・建材カンパニーの環境方針に準じる。
	・ゼロエミッションへの取り組み(埋立廃棄物ゼロ・再資源化率100%)	・廃棄物置場環境整備 ・排水溝環境整備 ・有価物化の検討	・前処理廃液の一部再資源化 ・油水分離装置新規設置	
	・物流の環境配慮取り組み	・倉庫・配送センター設備の省エネ化整備 ・他社合積化、中継地整備による積載効率向上	・トラックヤードでのアイドリングストップの啓蒙及び徹底。	
事業活動(本社・営業支社・関連会社)	・二酸化炭素排出の削減 ・省エネ活動	・経費削減目標展開 ・省エネタイプ照明器具への変更の検討	・集計フォーマットの見直しと周知 ・ショールームのLED照明化推進	
	・一般ゴミ・産業廃棄物(可燃物)排出量の削減	・各事業所毎に家庭ゴミ、一般ゴミ、産業廃棄物の削減。 ・持ち込みゴミ(コンビニ弁当容器など)の持ち帰り啓蒙。	・古紙: 一般⇒産廃(リサイクル) ・緩衝材(新聞紙): 一般⇒産廃(リサイクル)	
環境コミュニケーション	・地域社会との環境コミュニケーション	・敷地周辺の清掃活動他 ・環境月間に企画実施	・周辺落ち葉の一斉清掃。 ・境界線周辺の樹木剪定。 ・桜ライトアップと市民への開放。(桐生) ・定期的な周辺清掃。	
	・環境報告書の発行 ・環境取り組みの情報開示	2010年環境報告書発行	2010年環境報告書発行	